

	チェック項目	評価				質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた 今後の目標
		はい	どちら とも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	0		利用定員と指導スペースの関係に配慮していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	1	6	0	0		本部に対して、職員の配置数に関して要望していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	2	0		ユニバーサルデザインを意識しながら、環境整備を進めていく。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2	2	2		PDCAサイクルについての意識や理解を深められるようにしていく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	0	4		アンケート結果をふまえ、日々の業務を徹底していく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	0	0	5		事業所内に掲示し、保護者がいつでも閲覧できるようにしていく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	0	6		外部評価を受け、業務改善につなげていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	1	2		各種研修へは、積極的に参加していく。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	2	0	4		児童の実態を把握するために、今後も適切にアセスメントを行い計画書の改善にあたっていく。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	1	4		アセスメントツールについての理解を深めていく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2	1	3		チームで立案できるよう促していく。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0	2	1	4		固定化しないよう、常に評価・改善を図っていく。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	2	1	4		利用時間が長い場合は、個や集団での療育内容を工夫していく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	0	4		保護者のニーズや児童の実態に応じた計画書を作成していく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	1	1		ミーティングの時間を十分に確保し、内容や分担を確認していく。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	2		短時間でも振り返りを行い、次の支援につなげていく。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	2	0	3		記録を確実に取ることで、支援の検証・改善につなげていく。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	3		モニタリングを定期的実施し、支援計画を改善していく。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	1	0	5		今後もガイドラインに準じて、支援を行っていく。
関係 機関 や保 護者 との 連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1	0	4		児童を把握し、意見等を述べられる者が参画していく。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2	0	1		学校からの配布物等を通して確실히行っていく。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	0	0	4		保護者との連携を密にし、共通理解の上確実に対応できるようにしていく。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	0	5		定期的に情報交換を図り、支援内容等の共通理解に努めていく。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	0	4		支援内容の情報を確実に提供していく。

		チェック項目	はい	どちら とも いい ない	いいえ	わから ない	質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた 今後の目標
関係機 関や保 護者 との連 携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	0	0	6		他の専門機関との連携は、児童理解と確実な支援につながることから、今後も連携を図っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	2		様々な子ども達と触れ合う機会を積極的につくっていく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	1	5		地域の協議会の機会があれば、参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	0	2		面談や送迎時を大切な機会と捉え、状況や課題等を今後も、伝え合っていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	0	0	6		面談の機会を通して支援を実施していく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	0	4		引き続き、分かりやすく説明していく。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	3		保護者からの相談には、迅速な対応をしていく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	1	6		会等の開催は設けていないが、行事を通して出会った保護者同士が交流できるよう促していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	3		苦情があった場合には、本部へ「報告・連係・相談」をその日のうちに行い、迅速に対応していく。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	2		毎月事業所便りを発行し、情報や子どもの活動の様子を伝えていく。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0		細心の注意を払っていく。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0	0		連絡ファイルや保護者への連絡を通して、情報を的確に発信していく。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	1	6		地域住民に興味関心をもってもらえるような取り組みを実施していく。
非 常 時 の 対 応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	1		保護者へは、契約時にそれぞれの対応について、周知していく。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0		毎月、安全点検と年4回の訓練を実施していく。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	0	0		職員に研修の場を設け、日頃の言動を振り返っていく。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	2		契約時や面談時に丁寧に説明し、了承を得ていく。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	2		食物アレルギーには、最新の注意を払い職員がいつも目にする場所に掲示し、確認していく。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	1		ヒヤリハットの事例を基にミーティングで共有し、事例のようにならないよう注意喚起を行っている。